



ガーデンくん



スクエアちゃん

発行：スクエアガーデン地域包括支援センター
所在地：岡崎市羽根町中田 34
TEL：57-1133 FAX：57-0133
URL：taihoukai.or.jp/houkatsu/



ガーデン通信

みんなに優しい“まちづくり” 福祉座談会「ミソ端会議」

岡崎市では、「地域の助け合いによる福祉(地域福祉)」を推進するために、「顔の見える関係づくり」、「ともに生きる社会づくり」をめざすための「理念」と「仕組み」をつくるため「第3次岡崎市地域福祉計画」を作成しています。

みんなに優しい“まちづくり”って、何をすればいいのでしょうか？地域にどのような課題があり、何に取り組むのかを具体的に話し合う場所が岡崎市社会福祉協議会主催で行われる「ミソ端会議」です。

2/7(金) IN 市民ホーム



羽根学区福祉委員会
委員長 梅村 祥行 氏

羽根学区 めざす学区の姿

- 魅力ある福祉のまち
- 住んでよかった
羽根学区！！
- 人の和(輪)地域の和(輪)
声かけ合って福祉の輪

2/16(日) IN 市民ホーム



城南学区福祉委員会
委員長 牧野 明雄 氏

城南学区 めざす学区の姿

高齢者や支援を必要とする人を把握するために、隣近所が気持ちよくあいさつができる学区をめざす。

[重点課題]

- ① 高齢者の見守り活動のさらなる充実
- ② 高齢者サロン活動開催地域の拡大
- ③ 子育て事業(はねっ子広場・はねっ子サロン)の充実

[2019年度の活動]

- ・災害時避難行動要支援者に対する**平常時の見守り活動(安否確認)のための個別台帳を作成した。**
- ・高齢者サロンの開催地域が増加した。
- ・はねっ子広場、はねっ子サロンを側面からサポートする体制が整った。

[2020年度取り組むこと]

高齢者の**平常時の見守り(安否確認)**が、**確実かつ継続して行えるシステムづくり(安否確認方法の改善、地域支援者の確実な引き継ぎ等)**。

[重点課題]

- ① 高齢者支援のさらなる充実
- ② 支援が必要な世帯の把握と子育て支援の充実
- ③ 学区福祉委員会活動の強化

[2019年度の活動]

- ・防災訓練、夕涼み会では子どもから高齢者まで参加し、**多世代交流が図れた。**
- ・町単位で開催する**高齢者ミニサロン**が増加した。

[2020年度取り組むこと]

- ・高齢者のサロンに子ども達に参加する等、**多世代交流を更に進める。**
- ・新たに**地域の福祉活動に関わる地域住民を増やす。**
- ・支援の必要な方の**現状把握に努める。**



▲総代、社教委員長、民生・児童委員、みまもり隊長等の皆さんが、ご自分の考えを積極的に発言され、活発な意見交換が行われていました。



▲総代、社教委員長、民生・児童委員、小学校PTA会長、コミュニティ通訳員等の皆さんが6グループ(町単位)に分かれ話し合いが進みました。

「日頃からのお付き合いが、災害時の支援につながる。」“近助力”について改めて考える機会になりました。「学区福祉委員会の活動を知ってもらうことが必要だ。」との意見のとおり、活動の“見える化”は、1人ひとりが意識することに繋がります。**小さな「できること」を重ねることが「目指す学区の姿」の実現につながります！**例えば、横断歩道を渡る高齢者や子どもを見守る、お隣りの人に挨拶する。小さな「できること」を**あなたも今日からはじめませんか??**

2019年度 スクエアガーデン地域包括支援センター 1年間の活動のまとめ

身近な「高齢者の相談窓口」として、地域の皆さんと共に今年度も頑張ってまいります。お気軽にご連絡ください！

＜高齢者相談の状況＞

- ・介護 1,323件
 - ・認知症 357件
 - ・生活支援 330件
 - ・医療 229件
 - ・障がい 147件
 - ・住まい 102件
 - ・介護予防 40件
 - ・上記以外 221件
- (複数相談有。延べ件数)
全体のおよそ5割が介護に関する相談でした。

＜介護者への支援＞

- One Point ケアレッスン
(家族介護者教室・交流会)
開催日：12/23(月)
テーマ：“アドバンス・ケア・プランニング～私らしい人生を歩むために”
- 参加者：6名
内容：講義の後、事例について参加者で意見交換を行い学び合いました。

＜認知症にも優しいまちづくり＞

- ガーデン Café(認知症カフェ)
回数：2回
延人数：89名
ボランティア延人数：16名
- 認知症サポーター養成講座
回数：3回
受講者数：35名
★羽根小学校：109名
★城南小学校：62名
★高齢者見守り支援事業所登録時講座 2事業所



＜地域づくりのお手伝い＞

- シニアの暮らし便利帳検討会議
会議回数：11回(月1回)
延人数：135名
内容：
・シニアの暮らし便利帳の追加情報の検討、編集等
・高齢者見守り支援事業所数を増やすための事業所訪問等
・子ども食堂の視察
・他学区間の情報交換

- イベント参加
・城南学区ふれあい大運動会
・城南学区防災訓練
・ジョナップ市
- 出前講座
回数：18回



＜健康長寿のお手伝い＞

- 健康講座でアンチエイジング(介護予防教室)
回数：6～10月、全5回(月1回)
延人数：89名
内容：フレイル予防のための講義と実技、運動評価
- 岡崎ごまんぞく体操
継続団体数：5団体
新規団体数：6団体
登録者数：151名



握力測定 in ジョナップ市

～いつまでも健康に暮らしていこう！～

今年も、城南っぴ(城南学区女性の会)主催の「ジョナップ市」が1月25日に開催されました。バザーや喫茶などのコーナーが設けられており、城南小学校の授業参観と同日開催だったため小学生の保護者や地域の元気な高齢者の皆さんが参加されていました。

私たちも地域の皆さんに生活習慣病予防への意識を高めていただけるよう握力測定コーナーを設けて参加しました。

握力は、自分のからだの状態を知る一つの指標です。今年も、78名の方が握力を測定。自己の測定値と年代平均値とを見比べて、「握力が弱くなった」「何十年ぶりに測った」との声もちらほら。

男性の参加者の中には「もっと握力強いはず！」と何度か測定された方も。

日頃から、健康に関心を持ち、定期的な運動を行うことは生活習慣病予防の第一歩となります。

そして、それは年齢を重ねたときの介護予防に繋がってきます！



岡崎共立病院 リハビリテーション部
理学療法士 井内 勲 氏
昨年度は、当センターのスタッフとして活躍いただきました。

コラム 高齢者見守りネットワークの登録を考えてみませんか？

「道に迷って、いつもより少し帰りが遅い時があった」「今は一人で外出できているけど、前より物忘れが進んでいる」など、少しでも不安や心配を感じた時は、ぜひ地域包括支援センターにご相談ください。

岡崎市では認知症高齢者が行方不明になった場合、早期に発見するために、行方不明になる可能性がある高齢者の情報や特徴と、家族の連絡先を事前に登録する制度があります。登録された情報は、岡崎市・警察・地域包括支援センター、見守り協力団体等で共有しています。

熱中症のリスクが高まるこれからの季節は特に要注意！少しの発見の遅れが、命に関わることもあります。「今はまだ大丈夫」と思わず、本人も家族も安心して暮らせるように、準備をしてみませんか？

編集後記 庭のつづやき

新型コロナウイルスの感染予防の一環として、マスクの使用が日常的になりました。最近手作りマスクをよく見かけます。

手芸の得意な方が、色々な柄でマスクを作り、おしゃれの一部として日替りで楽しんでいるというお話を耳にしました。どんな時でもおしゃれや自分らしさを大切に、楽しく生活できるのって素敵ですね(*^-^*)